

臨床研究実施概要

【研究課題名】 集中治療室（ICU）における抗菌薬使用とde-escalationの実態調査
「Determinants of Antimicrobial use and de-escalation in critical care
(DIANA study)」

【研究期間】 2017年4月～10月

【研究の意義・目的】

本研究は感染症の診断または疑いで集中治療室に入院されている患者様を対象に、どのような治療が行われているか、適切な抗菌薬が選択されているか、を調査します。本調査研究は全世界の多くの施設で行われ、データを集積し、感染症に対する治療の実態を明らかにしていきます。

本研究は名古屋市立大学倫理委員会の承認を得て行っております。

【研究の方法】

上記期間に感染症の診断または疑いで入院し治療を受けられた方が対象となります。治療に使用した抗菌薬、患者様の年齢、性別、検出された菌などが記録されます。

本調査は純粋な調査研究であり、患者様への直接的な介入や侵襲はなく、いかなる利益・不利益も生じません。また、情報はすべて匿名化され、個人が同定されることは決してありません。

【研究機関名】 名古屋市立大学病院 麻酔科・集中治療部

【研究責任者】 井上 雅史

【問い合わせ先】 名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野
(〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地)

※ホームページの「お問い合わせ」ページからご照会ください。